

地域医療支援病院業務報告書

令和 7 年 9 月 12 日

愛知県知事殿

開設者 住 所 一宮市本町2丁目5番6号

氏 名 一宮市長 中野 正康

下記のとおり、令和 6 年度の業務に関して報告します。

記

1 病院の名称等

名 称	一宮市立市民病院					
所 在 地	一宮市文京2丁目2番22号					
診 療 科 名	内科、糖尿病・内分泌内科、血液内科、腎臓内科、脳神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、小児科、外科、乳腺・内分泌外科、整形外科、リウマチ科、脳神経外科、呼吸器外科、消化器外科、心臓血管外科、血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、リハビリテーション科、病理診断科、救急科、歯科口腔外科					
病 床 数	精 神	感 染 症	結 核	療 養	一 般	合 計
	0	6	18	0	570	594

2 施設の構造設備

施 設 名	設 備 概 要
集 中 治 療 室	（主な設備）人工呼吸器、心電計、セントラルモニタ、デフイブ [®] リレータ、超音波診断装置、個人用多用途透析装置、大動脈内バルーンポンプ [®] 、ポータブルエックス線装置 病床数 39 床
化 学 検 査 室	（主な設備）臨床化学自動分析装置、全自動凝固・線溶測定装置、血糖・HbA1c測定装置、全自動尿分析装置、全自動尿中有形成分分析装置、全自動電気泳動装置、全自動検体前処理装置、血液ガス分析装置
細 菌 検 査 室	（主な設備）細菌同定・感受性検査装置、全自動血液培養検査装置、全自動抗酸菌培養検査装置、炭酸ガス培養装置、孵卵器、生物顕微鏡、生物顕微鏡(蛍光)
病 理 検 査 室	（主な設備）凍結組織切片作成装置、自動染色装置、自動免疫染色システム、自動ガラス封入装置、パラフィン包埋ブロック作成装置、生物顕微鏡システム、自動包埋装置
病 理 解 剖 室	（主な設備）剖検台(装置)一式、臓器撮影装置、遺体保存冷蔵庫、マクロ写真撮影装置、ホルマリン希釈混合装置、排水滅菌装置
研 究 室	（主な設備）ディスカッション顕微鏡、電子カルテ、検査システム、骨髓像検査システム、書棚、書庫
講 義 室	室数 1 室 収容定員 200 人
図 書 室	室数 1 室 蔵書数 10,000 冊程度
救急用又は患者搬送用自動車	（主な設備）患者搬送用自動車 保有台数 1 台 救急車 保有台数 1 台
医薬品情報管理室	〔専用室の場合〕 床面積 13.7 m ² ―〔共用室の場合〕 室と共用

備考1 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

2 規則第9条の2第1項各号に掲げる事項を記載した書類を添付すること。

紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績

1 算定期間 令和 6 年 4 月 1 日 ～ 令和 7 年 3 月 31 日
 ※別紙の通り【別紙1-1】

2 紹介率 81.0 %

紹介患者の数 (A)	初診患者の数 (B)	紹介率 ($A/B \times 100$)
12,651 人	15,603 人	81.0 %

3 逆紹介率 138.1 %

逆紹介患者の数 (C)	初診患者の数 (B)	逆紹介率 ($C/B \times 100$)
21,555 人	15,603 人	138.1 %

- ※1 各人数については、前年度の延べ人数を記入すること。
- ※2 紹介率及び逆紹介率は、小数点以下第1位まで記入すること。
- ※3 紹介率が80%以上であることを承認の要件とする場合で、紹介率が65%以上80%未満の病院にあつては、今後、2年間で紹介率を80%以上とするための具体的な年次計画を明らかにする書類を添付すること。

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

共同利用の実績
(地域の医療従事者による診療、研究又は研修のための利用)

1 共同利用の実績 ※別紙の通り【別紙2-1、2-2】

- ・共同利用を行った医療機関 延べ1,038施設(うち、開設者と直接関係のない医療機関 延べ1,038施設)
開放型病床利用数・利用率 36.2 %

(内訳) 南館B棟5階2523号室(第1ベッド) 53.2 %
南館B棟6階2623号室(第4ベッド) 10.7 %
南館B棟7階2726号室(第1ベッド) 65.2 %
南館A棟4階1421号室(第1ベッド) 13.2 %
南館A棟3階1326号室(第1ベッド) 38.6 %

- ※1 前年度の共同利用を行った医療機関の延べ機関数、これらの医療機関のうち申請者と直接関係のない医療機関の延べ機関数、共同利用に係る病床の病床利用率等を記入すること。

2 共同利用の範囲等 ※別紙の通り【別紙2-3、2-4】

- ・共同利用病床、CT、MRI、RI、骨塩定量(DXA)、胃カメラ(GIF)、大腸ファイバー(CF)、大腸CT、ABR 研究室(共同利用対象施設については利用なし) 図書室(共同利用対象施設については利用なし)

- ※2 病院の建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具のうち、共同利用の対象としたものを記入すること。

3 共同利用の体制

共同利用に関する規程	(有) ・ 無	
利用医師等登録制度の担当者	氏 名	
	職 種	地域医療連携室長(医師)

- ※3 共同利用に関する規程がある場合には、当該規程の写しを添付すること。【別紙2-5】

4 登録医療機関の名簿

医 療 機 関 名	開設者名	住 所	主たる診療科	申請者との経営上の関係
別紙の通り 【別紙2-6】				

- ※4 申請に係る病院と同一の2次医療圏に所在する医療機関についてのみ記入すること。

5 常時共同利用可能な病床数 5 床

救急医療提供の実績

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況【別紙3-1】【別紙3-2】

No.	職 種	氏 名	勤 務 の 態 様		勤 務 時 間	備 考
			常勤 非常勤	専従 非専従		

2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	名称（ ICU 8床、NICU 9床 ） 17 床
専用病床	名称（ HCU 16床、ER-ICU 6床 ） 22 床

※ 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記入すること。

3 重症救急患者に必要な検査又は治療を行うために必要な診療施設の概要

施 設 名	床 面 積	設 備 概 要	24時間使用の可否
救急外来 (放射線検査部分を含む)	1,072.5 m ²	(主な設備) 喉頭ファイバースコープ、搬送用人工呼吸器、心電計、麻酔器、除細動器、X線CT装置	可
救急病棟 (ERICU、HCU)	626.0 m ²	(主な設備) 一般撮影装置、心電計、人工呼吸器、セントラルモニタ、デフィブリレータ、超音波診断装置、透析装置、ベッドサイドモニタ、血液凝固計	可
手術室	1427.1 m ²	(主な設備) 手術顕微鏡、高・低体温維持装置、全身麻酔器、生体情報モニタ、心筋保護ポンプシステム、止血用加熱凝固切開装置、超音波診断装置、腹腔・胸腔ビデオスコープ、手術台	可
臨床検査室	441.7 m ²	(主な設備) 臨床化学自動分析装置、全自動化学発光免疫測定装置、全自動血液培養検査装置、全自動抗酸菌培養検査装置、炭酸ガス培養装置	可

4 救急医療の提供の実績

救急用又は患者搬送用の自動車により搬入した救急患者の延べ数	6,873 人 (3,050 人)
上記以外の救急患者の延べ数	15,076 人 (1,630 人)
合計	21,949 人 (4,680 人)

※ () 内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

5 保有する救急用又は患者搬送用の自動車の出動回数 228 回

6 備考

救急病院の認定指定(平成22年5月1日)、病院群輪番制病院、救命救急センター(平成22年5月1日)

※特定の診療科において、重症救急患者の受入れ体制を確保する場合は、その旨を記入すること。

既に、「救急病院等を定める省令」(昭和39年厚生省令第8号)に基づき知事の救急病院の認定を受けている病院及び「救急医療対策の整備事業について」(昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局長通知)に基づき救急医療を実施している病院にあつては、その旨を記入すること。

地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績

1 研修の内容 ※別紙の通り【別紙4-1・別添】

2 研修の実績

(1) 地域の医療従事者への実施回数	26 回
(2) (1) の合計研修者数	857 人

※ 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

(2) には、前年度の研修生の実数を記入すること。

3 研修の体制

(1) 研修プログラムの有無 ☒ 有・無 ※別紙の通り【別紙4-2】

(2) 研修委員会の有無 ☒ 有・無 ※別紙の通り【別紙4-3】【別紙4-4】

(3) 研修指導者

氏 名	職 種	診 療 科	役 職 等	臨 床 経 験 年 数	備 考
別紙の通り 【別紙4-5】				年	
				年	
				年	
				年	
				年	

※ 研修責任者については、備考欄にその旨を記入すること。

4 研修実施のための施設及び設備の概要

施 設 名	床 面 積	設 備 概 要
講 堂	225.4 m ²	(主な設備) プロジェクター、スクリーン、電子カルテ、放送機材一式、ホワイトボード、テレビ・ビデオ一式
	m ²	(主な設備)
	m ²	(主な設備)

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法

1 管理責任者等

	氏 名	職 種	役 職 等
管 理 責 任 者 の 氏名、職種、役職等		医師	院長
管 理 担 当 者 の 氏名、職種、役職等		医師	医療情報管理室長

2 諸記録の保管場所及び分類方法

	保 管 場 所	分 類 方 法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、 手術記録、看護記録、検査所見記録、 エックス線写真、紹介状、退院した患者に 係る入院期間中の診療経過の要約	病院日誌…事務局・看護局等 その他の諸記録…医療情報管理室内サーバー室	病院日誌…日付順 その他の諸記録…一元番号法による1患者1記録
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	地域医療連携室
	救急医療の提供の実績	医事課
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績	地域医療連携室・医事課
	閲覧の実績	
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿	医事課

※ 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法
及び閲覧の実績

閲覧責任者	氏 名	職 種	役 職 等		
		医師	院長		
閲覧担当者	氏 名	職 種	役 職 等		
		医師	医療情報管理室長		
閲覧場所	地域医療連携室				
総 閲 覧 件 数	医 師	歯科医師	地方公共 団 体	そ の 他	合 計
	43	0	0	0	43
閲覧手続の概要	<p>電子カルテ・病院日誌閲覧</p> <p>○地域連携登録医 ※別紙の通り【別紙6-1】【別紙6-2】</p> <p>閲覧場所：地域医療連携室</p> <p>閲覧時間：平日 13時00分 ～ 17時00分</p> <p>閲覧申請：地域医療連携室へ連絡する。</p> <p><電子カルテ閲覧申請登録済></p> <p>①電子カルテ端末用のID番号とパスワードを取得する。</p> <p>②地域医療連携室で訪問記録簿に必要事項を記載する。</p> <p>③地域医療連携室の指定電子カルテ端末で、事前を取得したID番号とパスワードで閲覧する。</p> <p><電子カルテ閲覧申請未登録></p> <p>①地域医療連携室職員が同席する。</p> <p>②地域医療連携室の指定電子カルテ端末で、同席職員のID番号とパスワードで閲覧する。</p> <p>※主治医が同席した場合は主治医が指定した場所での閲覧を許可する。</p> <p>○その他医療従事者</p> <p><電子カルテ閲覧申請未登録>の手続き概要に同じ。</p> <p>閲覧に係るセキュリティ状況</p> <p>・上記のとおり。なお、登録医は自身のIDを使用して閲覧するが、使用のつど地域医療連携室職員が医療情報管理室へ連絡し、登録医ID使用の連絡を行う。（普段はクローズされている。）</p> <p>費用負担額</p> <p>・特になし。</p>				

医療法施行規則第9条の19第1項に規定する委員会の開催の実績

1 委員会の開催回数 4 回 ※委員会名簿は別紙の通り【別紙7-1】

2 委員会における議事の概要

※委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

令和6年度 第1回 地域医療支援委員会【別紙7-2】

【開催日時】 令和6年5月17日（金）【開催場所】 一宮市立市民病院 南館B棟11階 講堂

【出席者数】 11人／14人

【議題】 1. 前回議事録の確認について

2. 報告事項

3. その他

令和6年度 第2回 地域医療支援委員会【別紙7-3】

【開催日時】 令和6年8月23日（金）【開催場所】 一宮市立市民病院 南館B棟11階 講堂

【出席者数】 11人／14人

【議題】 1. 前回議事録の確認について

2. 報告事項

3. その他

令和6年度 第3回 地域医療支援委員会【別紙7-4】

【開催日時】 令和6年11月15日（金）【開催場所】 一宮市立市民病院 南館B棟11階 会議室

【出席者数】 11人／14人

【議題】 1. 前回議事録の確認について

2. 報告事項

3. その他

令和6年度 第4回 地域医療支援委員会【別紙7-5】

【開催日時】 令和7年2月21日（金）【開催場所】 一宮市立市民病院 南館B棟11階 会議室

【出席者数】 12人／14人

【議題】 1. 前回議事録の確認について

2. 報告事項

3. その他

※委員会に関する規定は別紙の通り【別紙7-6】

患者相談の実績

患者相談を行った場所	相談室、医事課窓口		
患 者 相 談 担 当 者	氏 名	職 種	役 職 等
		看護師	師長
		看護師	
		事務	地域医療連携室 主事
患 者 相 談 件 数	19,634 件		
患者相談の概要【別紙8-1】【別紙8-2】【別紙8-3】			
1	診察に関する苦情	22	件
2	運用に関する苦情	18	件
3	接遇に関する苦情	19	件
4	受診・入院援助	431	件
5	退院援助	15,862	件
6	経済的援助	1,176	件
7	心理・社会的援助	1,989	件
8	家族支援	74	件
9	社会復帰支援	18	件
10	その他	25	件

※ 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が同定されないよう配慮すること。

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

居宅等における医療の提供の推進に関する支援の状況

居宅等医療提供施設等における連携の緊密化のための支援等の実績

- ・ 認定看護師への講師依頼：3件
- ・ 認定看護師による連携相談：70件
 - ・ 皮膚・排泄ケア認定看護師、糖尿病看護認定看護師、慢性心不全看護認定看護師、緩和ケア認定看護師、がん性疼痛看護認定看護師、認知症看護認定看護師
- ・ 連携先：地域包括ケアセンター、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所
介護老人施設等
- ・ 地域の訪問看護ステーション、病院等のイベント参加：1件

医療を受ける者又は地域の医療提供施設に対する情報の提供の実績

《医療を受ける者に対して》

- ・ 患者が直接操作するものとして「MIM（メディカル・インフォメーション・マップ）」、職員が操作するものとして「メディマップ」により、地域の医療提供施設の検索機能などを提供した。

《地域の医療提供施設に対して》

- ・ 広報誌「地域連携室だより」（不定期）、「診療と地域連携のご案内」（年1回）の発行により、当院の診療科や認定看護師の紹介を行った。
- ・ 地域医療連携ネットワークシステム「いちみんネット」による患者情報の閲覧を行った。

その他居宅等における医療の提供の推進に関し必要な支援の実績

- ・ 医療福祉相談室、入退院支援部門、患者サポートセンターで患者に対する医療・社会資源の案内と相談を行った。 ※別紙の通り【別紙9-1】

その他地域医療支援病院に求められる取組みの状況

1 連携体制を確保するための専用の室、担当者

専 用 の 室 の 名 称	地域医療連携室		
担 当 者	氏 名	職 種	役 職 等
		看護師	看護師長
		医療ソーシャルワーカー	課長補佐
		事務	主査

2 病院の機能に関する第三者による評価 ※認定証は別紙の通り【別紙10-1】

評 価 を 行 っ た 機 関 名	公益財団法人 日本医療機能評価機構 3rdG:Ver.3.0
評 価 を 受 け た 時 期	2024年12月20日～2029年12月19日

※ 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

3 退院調整部門の取組

退院調整部門の実績
・入退院支援加算Ⅰ 10,664件、介護支援連携指導料 137件、退院時共同指導料2 241件(うち、保険医を含む3者以上との共同指導 104件)
・入退院支援システムを導入し多職種で情報共有、支援プロセスの可視化を行い退院支援を強化している。

4 地域連携を促進するための取組みの実績

策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容
・大腿骨頸部骨折、人工骨関節、脳卒中、5大がん、前立腺がん、肺炎
地域連携クリティカルパスを普及させるための取組み
・必要に応じて他医療機関に連携のための協力や届出を依頼している。(随時)

5 病院が果たしている役割に関する情報発信の実績

情報発信の方法
・ホームページ(随時)、地域連携室だより(不定期)、診療と地域連携のご案内(年1回)
内容等の概要
・各診療科や相談窓口の案内、病院の近況報告、医療機能や地域における役割の報告など。